

登録コード	A3596406	開講年度	2026					
授業科目	専攻研究					担当教員	鈴木 俊介	
英文授業名	Thesis Research							
単位数	5	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生		
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ							
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					自身の研究課題を遂行するために必要な、情報収集、実験の計画と遂行、データの解釈および考察をさらに高度なレベルで行うことができる。		
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					自身の研究課題を遂行するために必要な、情報収集、実験の計画と遂行、データの解釈および考察をさらに高度なレベルで行うことができる。		
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ							
	【2024年度以前カリ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					自身の研究課題を遂行するために必要な、情報収集、実験の計画と遂行、データの解釈および考察をさらに高度なレベルで行うことができる。		
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					自身の研究課題を遂行するために必要な、情報収集、実験の計画と遂行、データの解釈および考察をさらに高度なレベルで行うことができる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	当研究室では，人類がチンパンジーとの共通祖先から分岐した後にヒトゲノム特異的に変化したDNA配列のもつ遺伝子発現調節機能の解析を通して，人類の進化や疾患のリスクをDNAレベルで解明することを目指している。それを通して研究能力と研究に対する正しい価値観を養う。							
(5)授業計画	主な研究課題： ・ヒト特異的レトロトランスポゾンが有する遺伝子発現調節機能の解析 ・ヒト特異的タンデムリピートが有する遺伝子発現調節機能の解析 ・ヒト特異的ノンコーディングRNAの機能解析 ・有袋類のゲノム刷り込みをモデルとした哺乳類におけるエピゲノム制御の進化の解析 （学期の終わりに授業アンケートを行う）							
(6)自主学習の指針	定期的に，関連する研究分野の最新情報を収集し，内容をまとめる習慣をつける。							
(7)成績評価の基準	上記の【授業の達成目標】に挙げた6項目を許容レベルで行う力を備えていれば，合格水準（可）とします。							
(8)事前事後学習の内容	研究の内容や方法について自主的に調べること。							
(9)テストやレポートの予定	テストやレポートは実施しない。							
(10)成績評価の方法	日常の研究態度や熱意，調査や勉強の様子，成果発表の内容，さらには発表準備の取り組み方を総合して判断します。目安としては，上記の【授業の達成目標】に挙げた6項目について，許容レベルであれば60点以上，標準的達成レベルにあれば80点以上，理想的達成レベルにあれば90点以上とします。							
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時受け付けます。							
(12)履修上の注意	研究においては，受身ではなく主体的に，指導教員や先輩と議論することが大事です。実験操作や機器の取り扱い等で迷ったら，必ず聞いてください。							
【教科書】	特になし。							
【参考書】	適宜紹介する。							